

## 第 76 回 番組審議委員会議事録

### 1. 日 時

平成 28 年 4 月 16 日（土） 午前 10 時 30 分～

### 2. 場 所

スターピアくだまつ 3 階 会議室 1

### 3. 出席者

（出席） 6 名 （欠席） 1 名

### 4. 審議事項

特番「3.11 から 5 年～被災地の現状と今の私たちにできること」について

Pe： 山崎 道子

- ゲスト選出の基準を明確に。  
災害の現状よりもこれからを提案（生かす）という方向に切り替えてほしい。
- 番組テーマが重い中、BGM と内容に注意が払われ、パーソナリティ（山崎）のコメントも未来方向に向いていると思った。  
現地訪問された方の話は意味がある。何かをきっかけとして現地に足を運ぶことが大事。普通に過ごせることを幸せに思うし、それを自分の生活に生かしていける。
- 5 年経ったことで忘れていたことを冒頭に、Pe から TV 映像で見た震災の様子、感想を聞いて思い出すことができた。  
K ビジョンの取材などで、その当時言えなかったことが 5 年経って言えることもあるので  
はと思った。熊本地震も復興に向けた動きを追って行ってほしい。
- メディアの取り組み方として、4 月 14 日熊本地震（1 回目）での NHK、KRY の番組切替はすばやかった。  
FM 特番は、テーマの紹介から Pe 個人の当時の状況、K ビジョン（宗森）の 1 年目訪問の様子、下松商業開発（平田）の 2 年目訪問の感想と変化の推移を聞くことができた。  
Pe のスキルが高い。当時の状況描写がすばらしく、まるで映像をみているかのようだった。  
番組構成の段取り、展開がわかりやすい。  
メディア連携（FM ラジオ&ケーブル TV）がしなやかにできている。メディアのフィードバック（メディア→リスナー→メディア）も感じられる。
- 審議事項（テーマ決定）には精査が必要。目的、協議事項を明確に。  
こういう特番はいいことだし、続けて行ってほしい。  
被災地の人たちの思いは「忘れないでほしい」「支援への感謝」だと思う。

今 私たちにできることは、想定すること・自分自身に置き換えてみること。

停電のとき、ラジオの役割は重要。

災害時における家庭や職場でのルール（対応）確認をしていきたい。

5. その他協議事項

- ・ 特になし

6. 次回審議事項について

「ラジオくらぶ特別号～『よそもの』が地域を救う!? | ターン激熱トーク!」

Pe: 堀永 州平

7. 次回開催日について

平成 28 年 6 月 11 日（土）10:30～